



地域のみなさまへ



>> 特集
大腸がん

- ◆ 大腸がんとは
- ◆ 大腸がんの症状
- ◆ 大腸がんの原因と予防

- ◆ 大腸がんの治療
- ◆ 当院での治療

お知らせ 小児循環器内科が開設

2020年4月より小児循環器内科として、新たなスタートを切りました。先天性心疾患、不整脈、肺高血圧、川崎病後冠動脈瘤、心筋炎や心筋症等の診療を行っております。乳児健診や学校心臓検診の精査に加え、お腹の中にある赤ちゃんの診断にも対応します。総合病院であるメリットを生かして、心臓血管外科と連携した外科手術、循環器内科と連携した大人になってからの移行医療にも対応させていただきます。

写真：左から 小児循環器内科 主任科部長 藤田 秀樹 / 科副部長 佐藤 有美 / 医長 上村 和也



新型コロナウイルス感染症に関するお知らせ

最新の情報はHP掲載のお知らせをご確認ください。

保健所に『帰国者・接触者相談センター』が設置されています。下記に該当する場合にはご来院前にお住まいの地域の健康福祉事務所(保健所)へ連絡していただくようお願いいたします。

- 風邪(咳・鼻水・痰など)の症状や37.5℃以上の発熱が4日以上続く場合
- 強いだるさ(倦怠感)や息苦しさ(呼吸困難)がある方

* 高齢者や糖尿病、心不全、呼吸器疾患(COPDなど)の基礎疾患がある方や透析を受けている方、免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている方は2日程度症状が続けば対象となります。

加古川健康福祉事務所(保健所)	相談窓口▶TEL:079-422-0002(平日9時~17時30分)
兵庫県コールセンター	相談窓口▶TEL:078-362-9980(休日および夜間17時30分~翌9時)

NEWS

2020 4/1 認定
当院は「兵庫県指定 がん診療連携拠点病院」としてがん診療の充実に日々取り組み、このたび「国指定 地域がん診療連携拠点病院」に認定されました。「国指定 地域がん診療連携拠点病院」は全国で402病院が認定を受けており、兵庫県では17病院が認定を受けています。

厚生労働省 ホームページ▶
がん診療連携拠点病院等一覧表 <PDFファイル>
(令和2年4月1日現在)



当院は急性期および高度急性期医療を担う病院として地域医療の充実に取り組み、このたび「DPC 特定病院群」の指定を受けました。

DPC特定病院群とは、大学病院本院に準じた診療機能を持つ病院です。全国1757ある対象病院のうちDPC特定病院群は156病院が指定を受けています。そのうち兵庫県では7病院が指定を受けています。



加古川中央市民病院は、医療放射線に係る安全管理の体制を整えた証として「医療被ばく低減施設」として認定されました。

医療被ばく低減施設認定とは、適正な放射線量で検査・治療が行われ、さらに放射線管理が適正に行われていることを第三者機関に認められた施設にのみ与えられる認定で、現在、全国110施設、兵庫県下では4施設が認定されています。

私達は、今後も良好な画像と質を担保しつつ医療被ばくの更なる低減を推進し、患者さんに安心と安全な放射線診療を提供していきたいと考えています。

健康教室、各セミナーは現在中止しています。再開につきましてはHPにてお知らせいたします。

募集

詳しくはホームページをご覧ください。

ボランティア

外来案内、縫製や院内行事などのお手伝いをして下さっています。



加古川中央市民病院 ボランティア

検索

採用情報

資格、経験不問の職種もあります。まずはお問い合わせ下さい。



加古川中央市民病院 採用情報

検索

受付時間

受付：月曜日～金曜日
8:00～11:00

診療：月曜日～金曜日
8:45～17:00

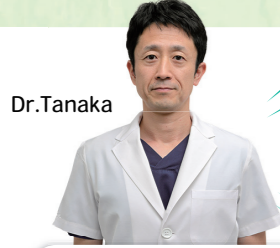
休診：土曜日・日曜日・祝祭日
年末年始12月29日～1月3日



地方独立行政法人 加古川市民病院機構
加古川中央市民病院

〒675-8611
兵庫県加古川市加古川町本町439番地
TEL:079-451-5500(代表)
https://www.kakohp.jp/





Dr. Tanaka

早期発見が大切！
身体に負担の少ない治療で
病変に応じた治療をご提案。

当院での治療の特徴



当院は消化器内科と消化器外科が連携し、大腸がんの治療に取り組んでいます。根治させることを第一に考え、できるだけ身体に負担をかけず、かつ過不足ない治療を行っています。

消化器内科では内視鏡的切除を行っており、消化器外科では腹腔鏡手術を中心に、従来の開腹手術や最近話題のロボット手術（ダ・ビンチ手術）を行っています。ロボット手術では、ロボットの多関節機能を生かして人間には不可能な角度で手ぶれなくアプローチすることができるので、精密な手術が可能です。

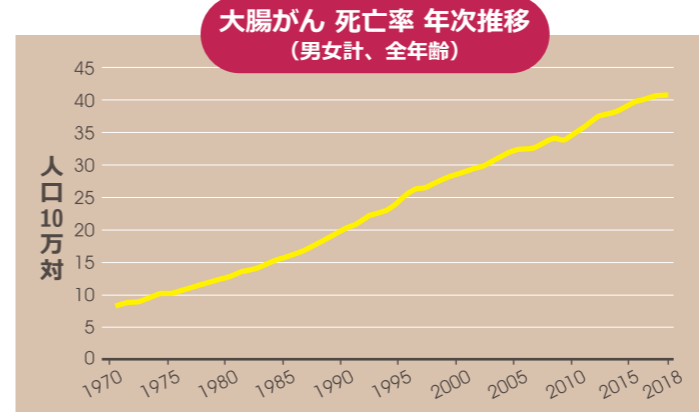
当院では、それぞれの状態に応じた治療方法を提案し実施しています。消化器内科・消化器外科・麻酔科・放射線診断科の医師、がん看護専門看護師、手術看護認定看護師などチームで治療にあたりますので、大腸がんと診断された場合でも必要以上におそれることなく病院を受診してください。

ベーコン・ハム・ソーセージなど加工肉の摂りすぎは大腸がんになる危険性が高いといわれ、食生活の欧米化に伴い大腸がんが増加してきたと考えられています。遺伝が関連するともいわれており、大腸ポリープまたは大腸がんにかかった血縁者がいる方は特に、定期的な検査（検便や大腸内視鏡）を受けましょう。

大腸がんを予防するには、生活習慣、特に食生活を見直す必要があります。穀物・豆類の繊維食・チーズ・牛乳・魚類の良質の蛋白質は、大腸がんの発症リスクを低下させます。果物・野菜・海藻・こんにゃくは水溶性食物繊維が豊富で保水性があり、大腸粘膜を保護する働きがあります。ビタミンC・Eには発がん物質をできにくくする働きがあるので、これらをバランスよく摂取するとよいでしょう。適度な運動をして肥満を防止すること、便を腸内に長く停滞させないような排便習慣をつけることも大腸がん予防につながります。

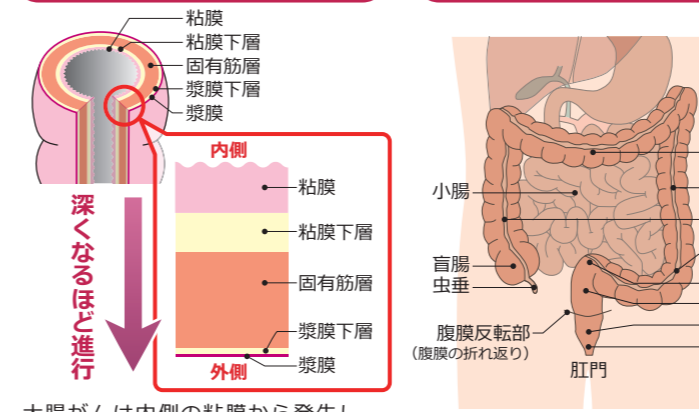
大腸がんでは、切除し摘出すことがもつとも治療する可能性が高い治療となります。ごく早期の大腸がんは腹部にメスを入れずに内視鏡を用いて切除できる場合があります。進行した大腸がんは、開腹手術・腹腔鏡手術・ロボット手術（ダ・ビンチ手術）が適応となります。当院でも2019年8月からロボット手術を開始しており、より精密な手術が可能となっています。

さらに進行し手術ができない場合には、状況に応じて化学療法（抗がん剤）や放射線療法等が選択されます。



出典：国立がん研究センター がん対策情報センター「がん登録・統計」

がんの進行について 大腸



大腸がんは内側の粘膜から発生し、深い層へ広がり、進行するとリンパ節や他の臓器に転移する。

大腸がんとは 最新の統計において、がんによる死亡数は第2位、罹患数は第1位と報告されています。大腸がんは大腸内側の粘膜から発生し、大腸壁の深い層へと広がり、進行するにつれリンパ節や肝臓、肺などの他臓器に転移します。しかし、早期に発見し適切な治療ができれば必要以上におそれることはありません。

大腸がんの原因と予防 大腸がんの原因は食生活が関係しており、過体重・肥満・飲酒は大腸がんになるリスクであることが明らかになっています。

特集 早期発見が鍵！ 大腸がん

大腸がんは近年増加傾向にあり、特に注意すべき病気のひとつです。今回の特集では、この大腸がんについて症状・治療・予防など少し詳しくご説明します。

消化器外科 科部長 田中智浩

Check List

こんな症状ありませんか？

- 吐き気がする
- お腹が張っていると感じる
- 下痢と便秘を繰り返す
- 血便（血液が混じった便）が出る

気になる症状があるときは
かかりつけ医の先生に
ご相談ください



当院ではしっかりと
かかりつけの先生と医療連携
を行っています。

当院の登録医一覧は HP で
古古川中央市民病院 開放病床登録医



検索